

1. コンクールの目的

「能動的に学習に取り組む姿勢と課題解決能力の育成による将来へ向けた「生きる力」の増強」

- 自分の疑問や課題を解決したいという意識をつくる。
- 調べる方法を学び、収集した情報から解決に必要な情報を選択する力をつける。
- 選択した情報が本当に正しいのか？新たな疑問があるのか？自分の行動（聞く・見る・実験する）で確かめる力をつける。
- 導かれた解答を自分のことばで表現する力、伝える力をつける。
- 「さらに自分ならこう考える」と解答から発展させた考えに繋がればなおよい。

「調べる」方法として

- 図書館の事典、資料を使うこと。
 - * 検証された様々な記述・データの資料として幅広く公平に選書されていて、確かな出版社のものが主体となっている。
- 資料の存在が不明の場合は図書館のレファレンスを利用する。
- （可能であれば）疑問や課題の元となる現地・現物・施設を訪れ、見て聞いて確かめて、資料に載っていない事実や、新たに出てくる疑問などを検証する。

* SNS（特にインターネット、Chat GPT）は参考程度とする。

2. 応募方法

1. 応募期間

9月1日～9月20日

* 例年、夏休み期間終了後の提出が多いです。

2. 提出方法

各校で取りまとめをお願いします。

(*「作品取りまとめ表」(別紙2)をお使いください。)
ご連絡をいただければ図書館から受取りに参ります。

3. 作品作成規定

- テーマは自由。
身近な疑問や不思議に思うこと、興味があること、時事問題で感じたことなど、テーマは自由。
- 用紙サイズ
小学生はB4サイズまで、中学生はA4サイズまで。
ともに50ページ以内(表紙・目次・引用文献は含まず)
(*小学生は画用紙1枚の作品も応募できます)
模造紙の利用も受付ますが、全国版への選出はできません。
- 用紙の種類
コピー用紙、方眼紙、レポート用紙、画用紙(A4・B4)
- 綴じ方
特に規定はありません。簡易な方法で可。
クリップ、ホッチキス、ひも綴じ、ポケットファイルなど。
- オリジナルの未発表作品に限る(学校に宿題として提出した作品は可。また、他のコンクールとの二重応募は不可。

5. 作品の主な審査基準(概要)

1. 調べ方と収集した情報の活用について

- 1) 市立図書館、学校図書館の資料を使っているか？
- 2) 年齢層（学年層）に応じたテーマか？
- 3) 課題解決の為に適切な資料から情報収集できているか？
- 4) 情報収集は幅広く複数の資料から収集しているか？
- 5) 使用した資料や情報の出所が明確か？たどれるか？

2. まとめ方について

- 1) なぜそのテーマ（課題）を選んだのか明記されているか？
- 2) 仮説（結果予想）をたてて調べているか？
- 3) 自分の力で調べ、解答へ導いているか？
- 4) 解答が目的とした課題の解決として合っているか？
- 5) 仮説と解答の違い（正誤）が検証されているか？
- 6) 自分の言葉でまとめているか？

3. 自由な発想について

- 1) さらに、改善提案や新たな疑問、発想が生まれているか？

4. その他

- 1) 「調べてわかることが楽しい！」と主体的に学ぶ喜びを感じとれる作品となっているか？
- 2) 情報の整理や表現方法に工夫がされているか？
写真やコピー切り抜きだけでなく、説明しやすいようにグラフや図を自分で工夫して作っている、など。

(*) 上記項目がすべて満たされていないと審査されない、入賞しないということではありません。

【 応募カード 】

- (例) 作品に貼り付ける応募カードです。(複写してご利用ください)

下記は基本書式ですが、基本要件を満たせば各校の既存書式でもかまいません。

作品の裏表紙に貼り付けてください。

なお、「名前」は、漢字で略字ではなく正確にご記入をお願いします。(例) 高橋→高橋など

きくひん 作品タイトル	
ふりがな	
なまえ 名前	
がっこうめい 学校名	学校 年 組

きくひん 作品タイトル	
フリガナ	
なまえ 名前	
がっこうめい 学校名	学校 年 組

きくひん 作品タイトル	
フリガナ	
なまえ 名前	
がっこうめい 学校名	学校 年 組

きくひん 作品タイトル	
フリガナ	
なまえ 名前	
がっこうめい 学校名	学校 年 組